

第6章 芸術文化

第1節 芸術文化の振興

第2節 宮城県美術館

第1節 芸術文化の振興

1 基本方針

県民の豊かな情操を培い、潤いのある生活の実現を目指し、かおり高い芸術文化の振興を図るため、県・市町村が一体となって文化行政施策の充実に努める。

2 施策の重点と具体策

(1) 芸術鑑賞機会の充実

優れた芸術を鑑賞する機会の提供と芸術鑑賞能力の向上、豊かな情操の醸成を図るため、次の施策を実施した。(第6-1表参照)

- ア 文化庁との共催による本物の舞台芸術体験事業(10公演)
- イ 財団法人日本青少年文化センター、社団法人日本児童演劇協会、市町村等教育委員会との共催による宮城県巡回小劇場(37会場)
- ウ 県・仙台市・仙台市教委・社団法人宮城県芸術協会・河北新報社・財団法人宮城県文化振興財団との共催による宮城県芸術祭の実施

(2) 参加し創造する文化活動の充実

県民が参加し、創造する文化活動の活性化を図るため、市町村教育委員会・県市町村文化団体及び高等学校文化連盟などとの連携のもとに、次の施策を実施した。(第6-1表参照)

- ア 国民文化祭派遣事業
- イ 地方青年文化祭・県青年文化祭・全国青年大会派遣事業
- ウ 高等学校文化活動助成事業(支部活動・専門部活動他)
- エ 市町村文化祭・各種展覧会との連携による地方音楽会(2会場)、絵画・書道展(3会場)

(3) 共催並びに後援等の援助奨励

県内全体を対象とした各種芸術文化活動及び事業に対し、積極的に共催・後援を行い、優れたものには教育長賞を贈り、奨励・育成を図った。

(4) 河北美術展への補助金交付

東北唯一の公募美術展として、県展の性格を持つ第67回河北美術展に対し補助金を交付し、地元作家の育成を図るとともに、地域に根ざした芸術文化の振興に寄与した。

(5) 地域文化功労者表彰

本県の芸術文化の普及向上に努めた功により、次の方が芸術文化・文化財保護部門で文部科学大臣表彰を受けた。

佐藤 悦子

長年にわたり、後進の指導、育成に努めるとともに、パレエの普及に尽力した。

小野寺 瑞夫

多年にわたり、優れた創作活動と後進の指導育成に努め、書道界の発展に寄与するとともに、文化協会連絡協議会会長として、本県の芸術文化の振興に尽力した。

湯本の田植踊保存会

多年にわたり、重要無形文化財「秋保の田植踊」の保存団体として、その伝承と後継者育成に尽力し、本県の文化財保護思想の普及に多大な貢献を果たしている。

第6-1表

平成17年度芸術文化関係事業

事業		期 日	会 場	入場者	参加者・参加作品数等
第42回宮城県芸術祭	開 場 式	9.23	せんだいメディアテーク5F	-	(参加者72名)
	絵 画 展	9.30~10.12	せんだいメディアテーク5・6F	6,136人	日本画65点 洋画237点
	書 道 展	9.23~9.28	せんだいメディアテーク5・6F	2,365	394点
	華 道 展	9.30~10.5	せんだいメディアテーク5F	3,333	前期38点 後期38点
	彫 塑 展	10.7~10.12	せんだいメディアテーク5F	1,766	20点
	工 芸 展	9.23~9.28	せんだいメディアテーク5F	1,931	66点
	写 真 展	9.30~10.5	せんだいメディアテーク5F	2,729	110点
	茶 会	10.2・16・23	輪王寺	1,129	
	長 唄 演 奏 会	10.10	仙台市民会館小ホール	327	
	音 楽 会	10.14	仙台市青年文化センター	526	「モーツアルトの魔法の笛」
	文 芸 祭	10.29	宮城県民会館	72	「ことばの森」～自作朗読と解説
	工 芸 展 雄 勝 展	11.5~11.13	石巻市雄勝硯伝統産業会館	981	工47
	絵 画 ・ 書 道 展	10.21~10.23	大和町体育センター	437	日14 洋38 書43
		10.28~11.3	角田市立角田小学校	1028	日14 洋40 書40
11.11~11.13		鹿島台町鎌田記念ホールアリーナ	532	日16 洋37 書39	
参加行事	地 方 音 楽 会	6.13	南郷中学校体育館	430	
		6.19	栗原市若柳総合文化センター	429	
	第36回洋舞公演	11.13	宮城県民会館	898	
	第50回仙台三曲協会定期演奏会	10.9	仙台市民会館大ホール	1,280	
閉 会 式	11.21	ホテル仙台プラザ	-	(参加264名)	
第58回宮城県合唱祭	5.29	多賀城市文化センター	1,855	中・高・大・一般 団体	
平成17年度宮城県写真展	11.22~11.27	県民ギャラリー	1200		
高等学校文化祭	音 楽 祭 (第27回)	10.24	仙台市青年文化センター	530	合唱, 合奏, 器楽の発表
	演 劇 コ ン ク ー ル (第42回)	11.19~11.20	仙台広瀬文化センター	530	各地区代表12校による県大会
	書 道 展 (第53回)	11.15~11.20	県民ギャラリー	889	県内高校生の作品
	美 術 展 (第57回)	1.18~1.24	県民ギャラリー	2,128	県内高校生の作品

国民文化祭			10.22～11.3	マーチングバンド・パトントワリングフェスティバル 源氏物語フェスティバル	33 7	(派遣人数)
文化庁派遣事業	本物の舞台芸術体験事業	音楽劇	11.10	宮城県気仙沼向洋高等学校	352	藤原歌劇団 オペラ「カルメン」ハイライト
			11.11	宮城県中新田高等学校	508	
		オーケストラ	10.24	岩沼市立玉浦小学校	396	山形交響楽団 軽騎兵序曲 他
			児童劇	10.7	柴田町立船岡小学校	712
		10.11		石巻市立北村小学校	144	
		10.12		栗原市立玉沢小学校	154	
		演劇	10.21	涌谷町立小里小学校	165	劇団 俳小 「椎の木の暦」
			10.24	気仙沼市立階上中学校	203	
			10.27	亘理町立亘理中学校	182	
			10.28	宮城県宮城広瀬高等学校	897	
芸術鑑賞巡回事業	巡回小劇場	音楽	9.5～9.16	県内18会場	6,059	鶴木絵里・佐々木武奈 ファインポイント「よだかの星」
			演劇	9.5～9.16	県内19会場	6,893
	青少年劇場小公演	9.4～10.7		県内8会場	1,182	鶴木絵里 ソプラノコンサート
			県内7会場	1,112	サクソフォンとピアノのコンサート	
			県内8会場	1,035	林敏揚琴コンサート	
	青年文化祭	地方青年文化祭	17.1.30	大崎生涯学習センター	450	演劇・合唱・郷土芸能・意見発表・ 人形劇・生活文化展他
2.27			丸森町民センター	386		
2.27			石越町体育センター	130		
2.27			牡鹿町民体育館	414		
3.6			アエル	400		
3.13			気仙沼市松岩公民館	200		
3.24			若柳町ドリームパル	50		
宮城県青年文化祭		16.5.29～5.30	富谷町総合運動公園内富谷武道館	1,532		
全国青年大会(文化祭関係)	16.11.12～11.15	日本青年館他	-	(宮城県選手団 芸能文化の部 89人)		

第2節 宮城県美術館

1 運営方針

本美術館は、地域社会に根ざした、特色ある近代的な美術館として、県民生活に密着し、県民に親しまれる総合美術センターとなるよう運営する。

すなわち、美術館としての充実した調査研究活動を踏まえ、すぐれた美術作品を収集、展示して観賞の機会を提供し、県民の積極的参加による創作活動の推進を図り、美術に関するさまざまな体験交流の場となるよう活発な教育普及活動を行い、さらに美術に関する他の領域と連携して文化的諸活動を行う。

これらの活動を通じ、特色ある地域における総合美術センターとして、県民に生涯学習の場を提供し、県民が自らその教育と情操を高め得るように努め、本県の芸術文化の発展に寄与する。

実践のための方針

(1) 美術作品などの収集保存

主として次の作品などを収集保存する。

- ア 宮城県及び東北地方ゆかりの作家の作品
- イ 日本の近・現代美術
- ウ 海外の美術
- エ 美術資料(模写、模型、文献、図表、写真、フィルム、レコード、テープなど)

(2) 美術に関する調査研究

- ア 宮城県の美術に関する調査研究
- イ 美術館が収集する美術作品に関する調査研究
- ウ 近代及び現代美術に関する調査研究
- エ 美術館における作品の展示・整理・保存などに関する調査研究
- オ 美術館における教育普及活動に関する調査研究
- カ 美術に関する刊行物の出版

(3) 展示

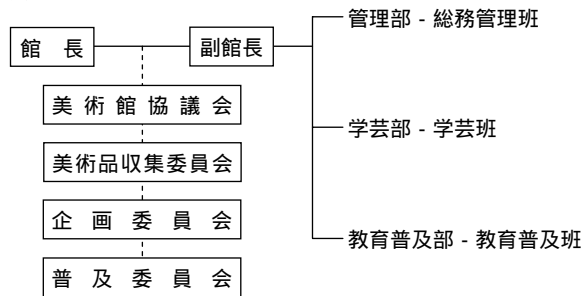
- ア 常設展示
収蔵する美術作品を中心とし、組織的に常時展示する。
- イ 特別展示 - 国内外のすぐれた美術作品により美術館として特色ある企画展示をする。

(4) 教育普及活動

- ア 創作活動 - ワークショップでの教育プログラムの立案とその実行
- イ 講演会、映画会、音楽会などの開催
- ウ 美術図書、ビデオなどの映像資料の公開
- エ ハイビジョンによる美術作品の上映
- オ 広報活動
- カ 県民ギャラリーの運営

2 組織と予算

(1) 組織



(2) 宮城県美術館協議会

ア 第12次宮城県美術館協議会委員名簿

No.	氏名	現職
1	赤倉 桂子	仙台市立寺岡中学校長
2	荒 伸 二	宮城県小牛田農林高等学校長 宮城県高等学校美術研究会長
3	及部 克人	武蔵野美術大学教授
4	矢内 諭	東北工業大学教授
5	有賀 祥隆	東京芸術大学客員教授
6	板橋 恵子	(株)エフエム仙台サウンズ 取締役制作部長
7	佐藤 克彦	(株)河北新報社編集局次長兼 生活文化部長
8	相田 ひろみ	画家 仙台シルクスクリン協会長
9	阿部 愛	学生
10	谷 新	(財)うつのみや文化の森 理事 宇都宮美術館長
11	渡辺 雄彦	(社)宮城県芸術協会副理事長
12	濱田 淑子	東北福祉大学助教授
13	市川 政憲	愛知県美術館長

イ 第12次宮城県美術館協議会開催状況

第1回 平成17年6月21日(火)

- ・報告事項
事業実施結果及び事業計画の報告について
- ・協議事項
美術館の運営について

第2回 平成18年1月23日(月)

- ・報告事項
事業実施結果及び事業計画の報告について
- ・協議事項
美術館の運営について

(3) 予算

項 目	金 額(千円)
美術館費	351,075

3. 事業

(1) 展示事業

国内外のすぐれた美術作品、資料などを組織的に展示し、広く県民に観賞の機会を提供し芸術文化の向上に努めた。

ア 常設展示 - 本館所蔵美術作品を常時展示し、常設展を一層魅力あるものとするため特集を実施した。

イ 特別展示 - 国内外のすぐれた美術作品による特色ある企画展を実施した。

第6 - 2表

展示事業の入場者数

(単位:人)

展 覧 会 名	開 催 期 間 (開 催 日 数)	個 人			団 体			その他	合 計	
		一 般	大高生	小中生	一 般	大高生	小中生			
特別展	歿後50年安井會太郎展	H17.4.16~6.5(44日間)	9,834	1,302	490	569	130	80	1,968	14,373
	花人 中川幸夫の写真・ガラス・書	H17.6.18~9.4(69日間)	5,337	792	384	727	144	217	1,506	9,107
	大原美術館展	H17.9.17~11.6(46日間)	46,826	2,292	1,614	1,973	941	149	5,099	58,894
	「ハ・ウ・ラ・モ・ダ・ソ・ソ=ハ・ツカ」展	H17.11.12~12.25(38日間)	2,772	453	68	433	65	161	1,631	5,583
	「彫刻家が描く 佐藤忠良絵本原画」展	H18.1.21~3.26(56日間)	6,785	528	0	677	81	0	3,353	11,424
計	253日	71,554	5,367	2,556	4,379	1,361	607	13,557	99,381	
常 設 展	298日	43,885	2,987	4,943	6,194	801	3,805	8,667	71,282	
合 計	551日	115,439	8,354	7,499	10,573	2,162	4,412	22,224	170,663	

常設展の入場者は、本館常設展の観覧者延数を記載した。

(2) 教育普及事業

県民の美術文化の向上及び創作活動の推進を図るため“だれでも、いつでも”自由に参加できる創作室運営を基盤に通年の日常活動と併せ、土曜・日曜を中心に作家の創作のありのままの姿に

ふれることを目的とした専門家による公開講座、公開制作を開催した。また、学校へ出向いての鑑賞活動、美術館講座、講演会、音楽会、ハイビジョンギャラリー、美術図書の公開など幅広く多彩な催しを行った。

ア 創作室の通常活動

第6 - 3表

実 施 日	事 業 内 容	講 師	参加者数	会 場
年間を通し開催(300日)	ワークショップ	教育普及部職員	3,752人	館内・創作室
	美術館教育(美術探検・美術館探検・その他)	教育普及部職員	7,301人	館内・創作室
	オープンアトリエ	教育普及部職員	8,435人	館内・創作室
計			19,488人	

イ 移動美術探検

第6 - 4表

実施日	実施校	講師	参加者数
5月17日	北角田中学校	教育普及部職員	97人
2月6日	白川小学校	教育普及部職員	44人
2月21日	西根中学校	教育普及部職員	32人
計			173人

ウ 公開講座・公開制作

第6 - 5表

実施日	事業内容	講師	参加人数	会場
5月14日～5月29日	公開制作 「記憶の形象・ゆれ広がり シルクスクリーン」	千葉 実	130人	創作室
6月18日～7月19日	公開制作「版でトランスフォームするー人体」	杉崎 正則	138人	創作室
10月28日～11月23日	公開制作「版で描く 版に描く」	岡沢 幸	214人	創作室
2月11日～3月5日	公開制作「墨・版・空間」	斉藤 文春	136人	創作室
計			618人	

エ 美術館講座

第6 - 6表

実施日	事業内容	講師	参加人数	会場
2月25日	彫刻とはなにかpart2 - 彫刻から "立体" へ 第1回「20世紀彫刻の示したもの - かたち, 構造, 場」	尾野正晴 (静岡文化芸術大学教授)	92人	アートホール
3月5日	彫刻とはなにかpart2 - 彫刻から "立体" へ 第2回「砂漠の彫刻家ダニ・カラヴァンとともに」	酒井忠康 (世田谷美術館館長)	84人	"
3月11日	彫刻とはなにかpart2 - 彫刻から "立体" へ 第3回「オブジェと脱オブジェ - 20世紀アートの"ワグ" と"ムラ"」	中村尚明 (横浜美術館学芸係長)	82人	"
3月18日	彫刻とはなにかpart2 - 彫刻から "立体" へ 第4回「70年以降の美術 - 行為に賭ける」	高山 登 (造形作家・宮城教育大学教授)	76人	"
計	4企画		334人	

オ 講演会等
第6 - 7表

実施日	事業内容	講師	参加人数	会場
11月22日～ 12月18日	特別展 「五感の都市へ - 仙台芸術遊泳 共鳴する美術館 - <音のかげら>金沢健一展」	金沢健一（彫刻家）	3,684	エントランスホール 中庭
5月15日	展覧会関連事業 「今日の安井會太郎」	中林和雄（東京国立近代美術館）	120	アートホール
6月18日	「ニッポニア・ニッポン 中川幸夫の仕事」	早坂 暁（作家）	110	講堂
9月17日	「美術館と地域創造」	大原謙一郎（大原美術館理事長）	300	講堂
9月18日	大原美術館展美術館における教育普及活動の実際	柳沢秀行（大原美術館主任学芸員）	180	アートホール
10月16日	「大原美術館のコレクション」	高階秀爾（大原美術館館長）	500	講堂
11月20日	「パウラ・モーダーゾーン＝ベッカー、女性画家の生涯と作品」	佐藤洋子（早稲田大学大学院教授）	53	アートホール
11月23日	共鳴する美術館 - <音のかげら>金沢健一展 パフォーマンス	金沢健一（彫刻家）	210	エントランスホール 中庭
12月18日				
12月4日	パウラ・モーダーゾーン＝ベッカーとその時代	西村勇晴（教育長技術参事兼学芸部長）	70	アートホール
4月24日	展示解説 特別展展示解説 歿後50年 安井會太郎展	当館学芸員	40	展示室
5月29日	歿後50年 安井會太郎展	当館学芸員	40	展示室
7月10日	花人 中川幸夫の写真・ガラス・書	当館学芸員	50	展示室
8月7日	花人 中川幸夫の写真・ガラス・書	当館学芸員	30	展示室
9月3日	花人 中川幸夫の写真・ガラス・書	当館学芸員	60	展示室
10月2日	大原美術館展	当館学芸員	120	展示室
10月30日	大原美術館展	当館学芸員	150	展示室
11月13日	パウラ・モーダーゾーン＝ベッカー	当館学芸員	29	展示室
12月18日	パウラ・モーダーゾーン＝ベッカー	当館学芸員	35	展示室
4月24日	常設展展示解説 「特集 荘司 禍から」	当館学芸員	27	展示室
5月22日	「海外の美術から」	当館学芸員	10	展示室
6月26日	「明治の洋画から」	当館学芸員	1	展示室
7月24日	「特集 コレクションウォッチングから」	当館学芸員	13	展示室
8月28日	「海外の美術から」	当館学芸員	18	展示室
9月25日	「大正の洋画から」	当館学芸員	15	展示室
10月23日	「本館特集から」	当館学芸員	30	展示室
11月27日	「佐藤忠良の作品から」	当館学芸員	0	展示室
12月25日	「昭和の美術から」	当館学芸員	12	展示室
1月22日	「本館特集から」	当館学芸員	5	展示室
2月26日	「海外の美術から」	当館学芸員	10	展示室
3月26日	「洲乃内コレクションから」	当館学芸員	9	展示室
2月5日	コレクション企画展示解説 「彫刻家が描く 佐藤忠良の絵本原画」展	当館学芸員	50	展示室
3月5日	「彫刻家が描く 佐藤忠良の絵本原画」展	当館学芸員	85	展示室
計	32企画		6,066	

カ 公演会
第6 - 8表

実施日	事業内容	講師	参加人数	会場
9月10日	ジャズ in ミュージアム	カーステン・ダール・トリオ	317	アリスの庭
12月23日	クラシック in ミュージアム第1回	中川賢一（ピアノ）	120	エントランスホール
2月21日～ 2月22日	ドラマ in ミュージアム「夜とピアノ」	三角フラスコ・渋谷浩次（音楽家）	200	エントランスホール 造形遊戯室
3月5日	クラシック in ミュージアム第2回 「フルーティスト瀬尾和紀を迎えて」	瀬尾和紀（フルート）・中川賢一（ピアノ）	285	エントランスホール
計	4企画		922	

キ ハイビジョンギャラリー

第6-9表

実施月	事業内容	受講者数
		人
4月	オルセー美術館	304
5月	近代絵画の断面	359
6月	シカゴコレクション	178
7月	日本絵画の諸相	316
8月	フィレンツェ・ルネサンス	304
9月	美術のたのしみ	387
10月	19世紀の画家たち	439
11月	オルセー美術館	316
12月	オルセー美術館	184
1月	パリで見られる19世紀フランス美術	188
2月	日本絵画の聖と俗	240
3月	日本で見られる19世紀フランス美術	234
計		3,449

ク ワークショップ『展』

第6-10表

実施日	事業内容	観覧者数	会場
		人	
4/1～5/31 6/5～7/3 8/5～8/31 9/3～9/30 1/21～2/28	ワークショップ『展』	4,708	創作室前ロビー
計		4,708	

ケ 図書室利用状況

第6-11表

実施月	公開日数	利用者数	左の内ビデオブース利用者数
	日	人	人
4月	26	283	5
5月	26	466	40
6月	26	356	6
7月	28	299	11
8月	26	396	9
9月	27	438	11
10月	27	494	8
11月	26	275	6
12月	22	176	4
1月	13	157	1
2月	24	254	6
3月	27	275	10
計	298	3,869	117

(3) 貸館事業

美術文化活動の活発化と創作活動の推進を図るため、創作物品の展示の場として、県民ギャラリーを広く一般に貸し付け、美術文化の振興に努めた。

第6-12表 県民ギャラリー使用状況

月	ギャラリー1 貸付日数	ギャラリー2 貸付日数	合計		
			貸付延日数	企画数	観覧者数
	日	日	日	件	人
4月	3	3	6	1	170
5月	18	6	24	5	1,169
6月	17	17	34	6	2,328
7月	23	23	46	5	5,245
8月	13	18	31	5	2,491
9月	16	6	22	3	2,443
10月	23	18	41	4	5,450
11月	25	25	50	5	8,067
12月	22	22	44	5	2,221
1月	6	6	12	1	1,445
2月	23	23	46	6	4,011
3月	20	14	34	5	2,909
計	209	181	390	51	37,949